



子育てと教育のまち 越生 **よく学び 未来をひらく 越生の子**

# 越生町の教育



## 中学校への円滑な接続

系統的、計画的な教科指導・生徒指導・体験活動等



**小小連携**  
合同授業  
合同行事



## 目指す越生町のこども像

義務教育9年間を見通し、目指す越生町のこども像（児童・生徒の姿）を共有し、「知・徳・体」のバランスのとれた一貫性のある教育を推進します。

**知**  
確かな学力と自立する力を身に付けたこどもたち

**徳**  
思いやりや感謝の心を持ち規律ある生活ができるこどもたち

**体**  
健やかな体を育みたくましくがんばり抜くこどもたち

越生町教育委員会

詳細はこちらをご覧ください。



## 越生浪漫 No.194

町制施行100周年記念「越生郷土かるた」



「越生郷土かるた」左：初版、右：改訂版

「越生郷土かるた」は、平成元年度に町制施行100周年事業の一環として作成されました。企画・編集には、越生町子ども会育成会連絡協議会のメンバーからなる越生郷土かるた作成委員会が当たりました。

読み札は越生町在住・在勤及び出身者から、絵札は町内の小学生から募集し、応募総数は読み札が753人、3,079点、絵札が598点でした。この中から、町の自然、文化、産業、くらし、ゆかりの人物、行事、公共施設などを題材として、現状や史実に基づいた明解な内容であること、読みやすさなどを基準に選定しました。当時発行されていた『コミュニティぶらざ』には、「越生郷土かるた作成に必死：越生郷土かるた作成委員会では、皆さんが応募した『読み札』の選考に10日以上もかけ、夜の公民館で夜毎頭を痛めていました」と書かれています。委員会では20回に及び、10月に完成となりました。かるたは、町内の小学生全員に無償配付され、毎年、新入学児童に贈られます。子ども会による越生郷土かるた大会が開催され、楽しく遊びながら故郷を知ることができるとして親しまれてきました。

平成23年には、越生町海の家の廃止に伴い、「るんるんと 心もはずむ 出雲崎」に変わる読み札及び絵札の再公募が行われました。読み札の応募総数は31点で、同22年に誕生した越生町のマスコット「うめりん」を詠んだ「ルックスは ゆるキヤラいちよ うめりんちゃん」が選ばれ、改訂版が発行されました。

近年、在庫数が減少し、児童への配付を中断していましたが、再活用を望む声が高まり、復刊をすることにしました。作成から36年が経ち、絵札を描いた子どもたちが親世代となった今、各家庭に浸透し、町民誰もが暗唱できるような魅力的なかるたを目指していきたいと思えます。



「越生郷土かるた」(改訂版)で追加された付録